

...ボランティアがつくるニュースレター...

トラストネットワーク

発行…トラスト通信ボランティア
問合せ…(一財)世田谷トラストまちづくり
〒156-0043 世田谷区松原 6-3-5
Tel: 03-6379-1620 Fax: 03-6379-4233
<https://www.setagayatm.or.jp/>



No. 87 2020年 3月

桜丘すみれば自然庭園の イベント・展示・講座から

1 「野鳥～自然木レリーフ展」

1/19(日)～26(日)

美しい木目や面白い木目の板に野鳥や生物を浮き彫り（レリーフ）にした、宮武正則さんの作品展示会がすみれば自然庭園の管理棟（ネイチャーセンター）でありました。



神奈川県在住の宮武さんは子供の頃から野鳥や生き物が大好き、学生時代は油絵や彫刻を趣味にされ、そして現在は日本野鳥の会や日本ワイルドライフアート協会の会員としても活動されています。営林署の木材販売コーナーやホームセンター、旅先で見つけたユニークな板材を生かした作品には、それぞれ“危機一髪”や“優良物件争奪



戦”などのタイトルがつけられていて、観る人をくすりとさせます。

また、25日（土）には

「シジュウカラの子育て記録」と題しての講座も行われました。宮武さんが“ねこびたい庭園”と呼ぶ自庭の桜の木に取りつけた巣箱で、シジュウカラが巣作りをし、10個の卵を産み育て、やがて巣立っていった約3か月間の記録をスライドにして発表されました。都市近郊で生きる野鳥の興味深い生態を知るとともに、リタイア後、昔からの趣味や興味のあることをミックスさせてオリジナルな発表活動に深めていく宮武さんの笑顔が印象的でした。

2 お楽しみイベント「農大生企画」

2/15(土) ～～インセクトホテルを作ろう～～



すみれば自然庭園では東京農業大学の学生たちが、子供たちと一緒に楽しむイベントを企画開催しています（2月・夏休み・10月）。

87号の目次

桜丘すみれば自然庭園	1
生命力に感動	3
世田谷で桜を見る	4
祖師谷四丁目小さな森	7
かわらばん	8

今回は気温17度という2月とは思えない暖かさの中、集まった10数名の子供たちが、野遊びの草地でインセクトホテル（昆虫巣箱）作りをしました。



男の子数名は大学生や保護者、すみればのボランティアスタッフに助けってもらいながら昆虫巣箱を作る大工仕事にチャレンジです。初めて使う金づちやクギに苦闘しながらも、箱が完成する頃はまるで棟梁の腕前に！！

年少の子供たちや女の子たちは出来上がった昆虫巣箱に小枝や枯葉などを詰めたり、松ぼっくりやドングリでデコレーション。最後に、出来上がった3つのインセクトホテルにそれぞれ名前を付けて、すみれば庭園の3か所に置きました。ビオトープの意味合いもあるインセクトホテル、これからの季節どんな昆虫がここに集まってくるの

か、子供たちだけでなく私たち大人も楽しみです。みどり豊かな生活や環境景観づくりを学ぶ東京農大の学生が中心となって企画するイベントは10年以上も続く人気行事。幼児の頃から毎回参加している小学生もいるそうです。かつては個人の邸宅の庭の一部だったという“すみれば自然庭園”が、世代を超えて自然とふれあいがらの交流の場として受け継がれているのを感じ、心もあたたかくなった1日でした。



<桜丘すみれば自然庭園>

住所 世田谷区桜丘 4-23-12

☎ 03-3420-2755

交通 小田急線 千歳船橋駅 徒歩10分

開園 (4-9月) 9~17時 (10-3月) 9~16時

環状8号線側の正門を入ると、イベントのポスターやボランティア募集などを掲示した情報コーナーや、駐輪場等があります。



生命力に感動・・・ 桐 と ヒキガエル

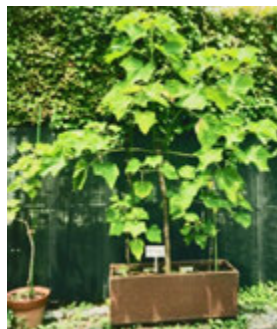
駅前での桐の樹

祖師ヶ谷大蔵駅北側広場に毎年5月に薄紫色の花を咲かせていた桐の樹(昭和11年植樹)が、去る1月28日に伐採されてしまいました。

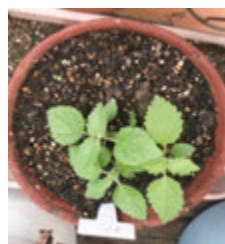
数年前から樹の内側が空洞になり、その存続を心配していた、地元の祖師ヶ谷地区身近なまちづくり推進協議会の緑化環境部会の部員が若木を育て始めていました。実生から5年余り元気に育ち、5本のうちの1本は高さ2mにも達して生命力の素晴らしさを感じさせます。

駅前広場整備計画により、数年後にはもう少し育った桐の若木が植樹される計画があるそうです。

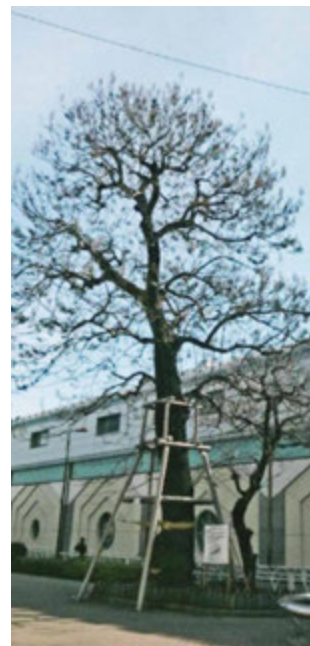
祖師ヶ谷大蔵駅のシンボルツリーとして立派に育ちますように心から願っています。



成長を続ける若木



芽生えのころ



在りし日の姿 背景は駅舎

フラワーランドでヒキガエルに遭遇

フラワーランド内の野草園の築山の植栽を見直し、山野草を移植する作業に着手することになりました。

11月6日、築山の土壌の荒起こし作業を始めて10分位過ぎたとき、持ち上げたスコップから土が落下すると、黒い物体が現れました。黒い土があるはずはないと思い、よく見ると、なんと、握りこぶし大の「ヒキガエル」。

ビックリしましたが、フラワーランドにもヒキガエルが住んでいるんだと、うれしかったです。冬眠中なのに無理に起こしては可哀そうだなと思い、大きなバケツに土を少し入れ、カエルをその中に入れて冬眠できるように土をかけてやり藪の近くにバケツを置いたのですが、カエルは飛び出して藪に隠れてしまいました。

12月14日。築山の半分ほど荒起こしが済んだところで、またスコップの

土の真中にヒキガエルが。前に見たヒキガエルでした。先生から「そのままにして、置いてやりなさいよ。」ということで、その時は、藪の中に入っていくのを見送りました。

30年近くも掘り起していない、硬い土をカエルは自力で掘り起してもぐりこみ、冬眠を続け、その先の春を迎えようという生命力に感動しました。

作業を終えての感想は、スコップでカエルを傷つけなくてよかったなという安心感でした。

カエルが冬眠していた
築山(2月24日作業完了)



3月になって冬眠を終えたカエルに園内の水辺で再会。産卵場所を探しているのでしょうか。

世田谷で“桜を見る”場所を探る

三月を迎えると桜の開花予想が新聞紙面やテレビ放送を賑わせます。世田谷区内には墨田公園、上野公園、新宿御苑等のような桜の見所として定着した場所はありません。自ら適した場所を探る必要があります。

本紙では10年ほど前に地域は限定されますが、スタッフのアイデアで「桜にまつわる話」というテーマで桜の紹介をしました。(本紙 No. 43)

今回は「せたがや百景」と1999年以降に制定された世田谷風景づくり条例によって選ばれた「地域風景資産」から桜に関係した風景を選びそれを紹介することにいたしました。

1 桜の名所

1.1 北沢川緑道桜並木と代沢の桜祭り

代沢 3, 4, 5 丁目

茶沢通りから淡島通りの区間、北沢川緑道の両側には、桜並木が続いています。満開になると花のトンネルになり、花見の宴が繰り広げられ地元主催の桜祭り(今年中止)には甘酒の無料接待やパレードが行われます。

1.2 梅と桜の羽根木公園

代田 4 丁目

梅ヶ丘駅北口の小高い丘が区立公園になっています。梅の木は、1967年に55本の植樹から始まり現在は約650本に増え、2月下旬の梅まつりには紅梅白梅が咲きそろい多くの人々が訪れます。また春には桜の名所でもあります。

「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに1979年に日本で最初に開設されたプレーパーク。40年余りの区と地域住民と世話人会の協力で維持・運営されています。

1.3 上北沢の桜並木

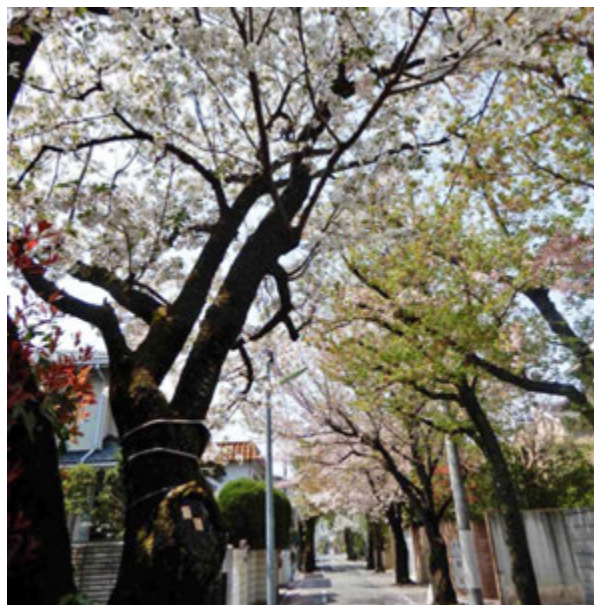
上北沢 3 丁目

住宅街の道の両側に約50本の桜並木がつづいています。地図の上で見ると、中央の通りからちょうど肋骨のように規則正しく斜めに、枝道が延びています。この道が肋骨通りと呼ばれています。桜並木を守り育てている「上北沢桜並木会議」のボランティアの方々が花芽観察会を開き、樹木医の指導を得て、個々の枝振りや樹勢を観察し適切な処置を行っています。見事な花が咲き続けることを期待します。

1.4 成城の桜並木

成城 6, 7 丁目

成城の桜並木は昭和初期に成城学園の児童が参加し植樹されました。いまや大きく育ち街並みを引き立てています。住民と学生や児童が協力して進めている落ち葉掃きなどの活動は、並木の保全に貢献し心豊かなまちづくりへの展開が期待されます。

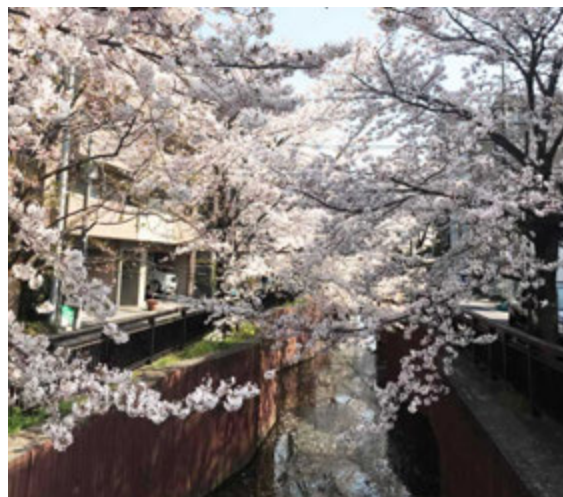


成城の桜並木はイチョウ並木とともに季節ごとに成城学園への道筋を彩どり、せたがや百景をはじめ、地域風景資産にもたびたび選ばれています。

1.5 仙川に映える桜並木 (打越橋～石井戸橋)

成城1丁目 砦7丁目

桜が仙川の水面に映える様子が美しい。夜間のライトアップによる姿は他所には見られない姿です。



日体大付近の呑川と満開の桜

1.6 多摩川土手の桜

野毛1～3丁目

東京で最も早く咲く桜として知られています。春の光を全身に浴びるからでしょうか。満開の早咲き桜はのどかな春の風景を多摩川堤で形作ります。



2020/2/24 撮影
この地域には数か所に早咲き桜があります、いずれも満開まであと一歩。

駒沢通りより下流の区間は土の道として整備され、呑川緑道公園と名づけられ、桜並木の散歩道はお花見スポットとして賑わっています。



深沢4丁目付近のお花見スポット

1.7 桜並木の呑川と緑道

新町1丁目 深沢1, 3～6丁目

呑川の下水道化のために川の上をふさぎ緑道化したが、駒沢通りから上流はまだ川の流れが見えます。川の流れに沿って桜並木があり、玉川通りまで続いています。遊歩道になった神明橋から下山橋の区間にも桜並木が見られます。これは川の土手の両側に植えられた桜がそのまま残ったもの。地域風景資産として平成5年に呑川親水公園と名付けられています。

1.8 旧・新町住宅地の桜並木

深沢7, 8丁目 桜新町1丁目

1913年に信託会社による分譲がはじまった「新町」住宅地には、Y字型導入路と呑川に平行の東、西と南大通りに1,000本余りのソメイヨシノが植えられました。これが桜新町の地名誕生の由来となっています。同時に当時開通していた玉川電車の駅名も新町から桜新町と改称されました。

深沢8丁目の住宅街に大きな修道院があります。庭園内の湧水が池を造り、そこから呑川親水公園に流れています。



深沢の杜緑地(深沢8丁目)、緑豊かで湧水の池から呑川への流れがあります。

1.9 谷沢川の桜と柳の堤

用賀1丁目

川沿いの桜が途切れると柳が続く。悲劇の伝説をもった「姫の滝」跡もあり、下流は等々力溪谷へと達しています。地元の人たちの行き届いた手入れの跡が見られます。



2 “桜”の付く地名と桜の名所

世田谷区内には桜の付く町名、駅名、学校名などが多いのが目立ちます。これらの“桜”がその花を表わし、その花が咲く名所を示しているのか。町名を以下に示し、その由来について調べてみましょう。

2.1 “桜”の付く町名等

桜木^{あざ}(字名)、桜1～3丁目
桜丘1～5丁目、桜上水1～5丁目
桜新町1～2丁目
桜新町駅、桜上水駅

2.2 町名の由来

桜木^{あざ}(字名：サクラギ)：吉良氏の菩提寺勝光院の所領でした。隣接した世田谷城内に「御所桜」として由緒ある桜があったのに因んだものと思われます。

桜：昭和41、42年の住居表示制度の実施に伴い旧世田谷4丁目の区域が該当する地域となりました。桜木他数か所の字^{あざ}の区域が統合されています。町名は桜木から結びつけたようですが、桜丘の町名に使われた桜小学校の桜を結びつけたとも考えられます。

桜丘^{さくらがおか}：旧世田谷5丁目の大部分が該当する地域。町名は昭和22年に地域内にできた最初の小学校「桜丘小学校」に因んで付けられました。桜丘とは特に桜の多い丘があった訳ではなく母体の桜小学校の名称に丘を付けただけのようです。

桜上水：住居表示の実施に伴い旧上北沢1・2丁目から分割された地域です。地名は京王帝都電鉄の駅名によります。駅名は駅の北側にある玉川上水沿いの桜並木に因んで、以前は“車庫前”という名称を桜上水と改めたそうです。

桜新町：本紙1.8旧新町住宅地の桜並木の項の説明通り例外的に“桜”に因んで町名が付けられました。

2.3 まとめ 町名は住居表示制度の実施を機会に改められ、桜や桜の名所とは直接結びつかないようです。

参考資料 (1)世田谷の地名(上,下)

世田谷区教育委員会 著

(2)せたがや風景MAP 世田谷区都市デザイン課著

祖師谷四丁目小さな森 ガーデンオープンに参加して

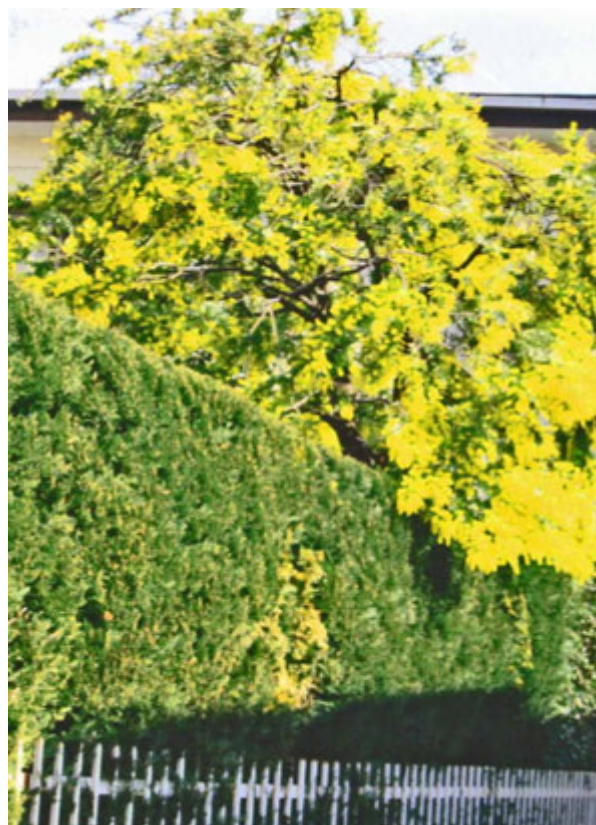
2月20日(木)、あいにくの曇空でしたが、12時すぎから大勢参加のスタンスで設営準備に取り掛かりました。

今回は新型コロナウイルス感染の影響があり、受付の際に体調確認させていただいて、開園時間を短縮しての公開となりました。

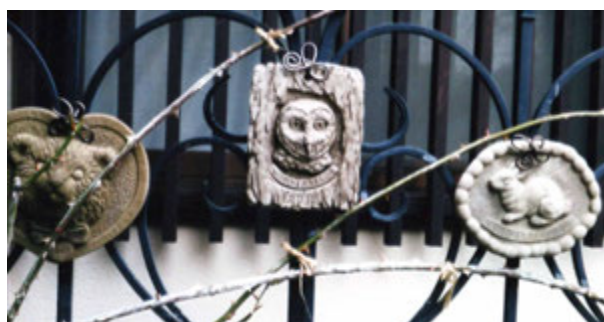


来場者もマスク着用が多く見られます。予定の20名余りが集まったところでオープニングセレモニーが始まり、(一財)世田谷トラストまちづくりから安間課長、小林係長の挨拶がありました。続いてグリーンアドバイザーの人とオーナーとのトークでバラがメインの庭の公開への経緯などが披露され、和やかな雰囲気の中で庭の散策へと続きました。

その後も会話が弾み、見事に咲いている大きなミモザの樹をカメラに収めたりして楽しいひとときとなりました。次回予定の5月公開で、さまざまな

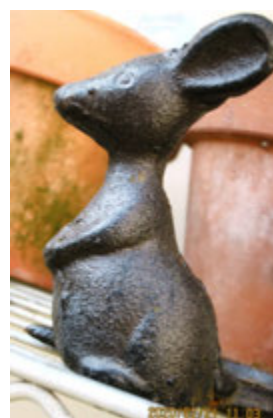


バラが楽しみという声の中で時間短縮のため2時過ぎに散会となりました。



元々は和風の庭だったところをバラを2本植えたのが始まりで各種のバラを植えて楽しんでいるという庭は、鉢やオブジェにさりげない趣を感じさせる風情があります。春になったらどんなバラ園になるのか待ち遠しく、楽しみが広がっていきます。

コロナウィルスが沈静化して、無事開催されることを祈るばかりです。





よみがえった環境

きれいになりすぎた瀬戸内海

現在、地球温暖化をはじめ、自然破壊、海洋プラスチック汚染など様々な環境問題があります。1960～70年代、日本は「世界最悪の汚染国」といわれていました。公害や環境破壊により、大気や水質や土壌は汚染され、騒音や悪臭に悩まされ、野生生物はどんどん姿を消していきました。しかし、かつて話題になった環境問題の中には克服された例もあります。

1970年代、河川を通じて工業排水や生活排水、家畜の排泄物などが流れ込んで海域の水質汚濁も深刻になりました。1990年代になると、河川や湖沼の水質は改善しましたが、海域の水質は滞ったままでした。

とくに、瀬戸内海では、赤潮が大発生して「瀬死の海」と呼ばれる状態でした。しかし、周辺の下水处理などによる水質浄化によってしだいに海水はきれいになりました。

ところが最近、瀬戸内海では、養殖ノリの色落ちや不作、養殖カキの生産減少などが報告されています。香川大学などの調査によると、これは海の生物に必要なリンや窒素などの栄養分の不足が原因ではないかと言われており、海の水がきれいになりすぎた結果だということです。そして兵庫県などでは、排水の基準値の見直しを検討している状況です。環境問題には「これでよい」というゴールはありません。身近な問題から地道に解決に向けた行動をしていくことが必要だと思います。

参考：環境再興史 石 弘之著 角川新書

サクラを学ぶ

樹木医さんの説明を受けながら桜並木を観察する機会がありました。

「人工的な交配で生まれたソメイヨシノは手がかかる。高齢となればなおさら。異常気象に痛めつけられ、車や人間にも踏まれ、通行の妨げや危険回避のためと伐られ、適切な管理を受けずに枯死。経済活動がもたらす外来の害虫脅威までも。」

観桜、青葉、桜紅葉を心して楽しみたいと思いました。

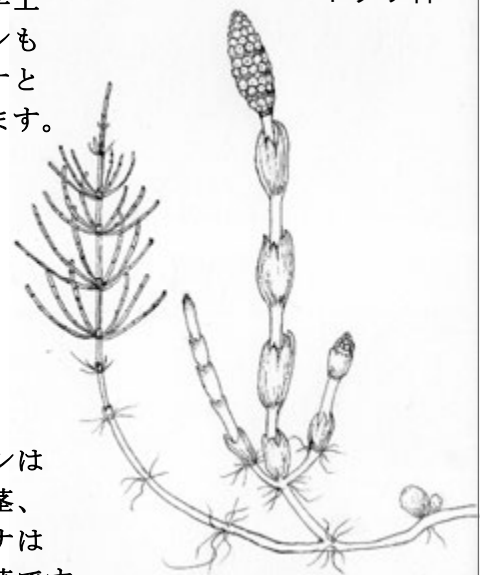
いきものさんぽ

スギナ

植物学上
ツクシも
スギナと
呼びます。

トクサ科

ツクシは
胞子茎、
スギナは
栄養茎です。



せたがやトラスト彩草会

編集後記 1950年に25億人であった世界人口が、国連統計によると1998年に60億人、2011年に70億人に達した由。

これは農業、医学など科学技術の成果と言えますが、急激な人口増を養うための自然侵蝕は留まる所を知らず、温暖化に伴う災害の多発を招き、加えて微生物による人類への反撃とも思える手強いウイルスの出現を見て、自然を軽視した事への警鐘と捉えています。

87号作成に関わったメンバー

大泉定雄 奥田雅子 片寄正史 北畠明子
須藤礼子 須永澄子 野武一郎 宮下正雄